

事業番号	06 01 01	事業改善シート（令和5年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	環境保全活動等推進事業費	部局	環境部	課・室	環境政策課	
		実施期間	H7～	E-mail	kankyo@pref.nagano.lg.jp	

### 1 現状と課題

- ・県民に対して環境の保全や気候危機に対する関心を高めるための機会や情報等が必要である。
- ・2050ゼロカーボン実現のためには県民総参加の取組の推進が求められている。

### 2 事業目的

- ・県民の環境保全に対する意識を高めるとともに、将来の環境保全を担う人材育成を図る。
- ・県民・NPO・事業者等のパートナーシップによる持続可能な社会の構築を目指す。

### 3 事業目的を達成するための取組

#### ①県民総参加による環境保全の取組の推進

当初予算のとおり

#### ②2050ゼロカーボンに向けた県民の気付き・学び・行動の促進

ゼロカーボン社会共創プラットフォーム事業における事業費確定による減

### 4 成果指標

(推移の凡例 ↗:改善 ↘:悪化 →:変化なし —:数値なし)

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R5年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	環境のためになること（環境に配慮した暮らし）を実行している人の割合	%	63.6	62.0	↘	54.2	↘	68.0	/	R9年度に当該指標を80%にすることを目標とし、R5年度は68%を目標とする。	
②									/		
③									/		

### 5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （★印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年度	数値	年度	数値	年度	数値	年度	数値
1-1①	持続可能な脱炭素社会の創出	温室効果ガス総排出量	千t-CO2	2016 (H28)	14,989	2017 (H29)	14,959	2018 (H30)	14,572	2027 (R9)	9,633
1-1①	持続可能な脱炭素社会の創出	最終エネルギー消費量	万TJ	2016 (H28)	17.2	2017 (H29)	17.2	2018 (H30)	17.2	2027 (R9)	13.5
1-1①	持続可能な脱炭素社会の創出	★再生可能エネルギー生産量	万TJ	2018 (H30)	2.8	2019 (R1)	2.8	2020 (R2)	2.9	2027 (R9)	3.7

### 6 事業コスト

(単位：千円、人)

区分	予算額				合計 (予算現額)	うち一般財源	決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	うち今回補正額				
R5年度	0	87,121	△14,435	△14,435	72,686	29,822	/	4.0
R4年度	0	74,380	△7,903	/	66,477	29,700	60,275	4.0
R3年度	0	54,290	△9,790	/	44,500	11,990	32,967	4.0

事業名	環境保全活動等推進事業費	部局	環境部	課・室	環境政策課
-----	--------------	----	-----	-----	-------

細事業 No.	細事業名		R3年度 予算現額	R4年度 予算現額	R5年度 予算
1	県民総参加による環境保全の取組の推進		37,118 千円	36,314 千円	予算現額 39,150 うち今回 0 補正額 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	環境審議会、専門委員会の運営	直接	長野県内における環境の保全に関する基本的事項等の調査審議を目的として、学識経験者等で構成される審議会を設置 環境審議会の開催6回、専門委員会の開催1回		
2	信州環境フェア実行委員会に対する負担金	負担金	環境に配慮したライフスタイルを確立する契機とするため、信州環境フェア実行委員会に参画し、「信州環境フェア」を開催する。 令和5年度来場者数：500名、YouTube視聴者数：1,000回		
3	信州豊かな環境づくり県民会議に対する負担金	負担金	県民総参加による環境保全活動により、持続可能な郷土を築くため、「信州豊かな環境づくり県民会議」と連携する。 令和5年度構成団体数：84団体		
4	長野県環境保全協会に対する補助金	補助金	県が指定する「長野県地球温暖化防止活動推進センター」として、地域や家庭、事業者への普及啓発及び県地球温暖化防止活動推進員の活動等を推進する。 令和5年度地球温暖化防止活動推進員研修：2回以上実施		
5	信州環境カレッジ事業	委託	県民の環境保全に対する意識の向上と将来の環境保全を担う人材の育成のため、「信州環境カレッジ」により、環境教育を推進する。 令和5年度受講者数：13,120人		
6	紙の再生・利活用推進事業	直接	水を使わず紙を再生できる乾式オフィス製紙機により環境負荷の低減を図るとともに、県庁見学等で環境負荷低減の取組をPRして環境保全に対する理解の促進を図る。 令和5年度乾式オフィス製紙機見学団体数：46団体		

細事業 No.	細事業名		R3年度 予算現額	R4年度 予算現額	R5年度 予算
2	2050ゼロカーボンに向けた県民の気付き・学び・行動の促進		7,382 千円	30,163 千円	予算現額 33,536 うち今回 △14,435 補正額 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	ゼロカーボン社会共創プラットフォーム事業	直接 委託 負担金	気候危機に立ち向かう行動の輪の拡大や気候危機突破プロジェクトなどに取り組む。 県民一人ひとりの気候変動に対する行動を促すため、分野・地域・世代を超え、ゼロカーボンミーティング等を開催。事業費確定による減。 ゼロカーボンミーティング10回開催		